

天沼小だより


文責

校長 丹羽 悦子



＜全国学力・学習状況調査の結果から＞

本年4月17日（火）に全国の6年生を対象に行われた全国学力・学習状況調査の結果をお知らせします。全国や群馬県と比較した、本校の特徴的な傾向をお知らせします。

○国語A（主として国語の知識を問う問題）では「相手や目的に応じ、自分が伝えたいことを事例などを挙げて筋道を立てて話す」「日常生活で使われている慣用句の意味を理解し、使う」が良い結果でした。ただ「目的に応じて必要な情報を捉える」ことや漢字の書きで「設備」「消毒」「積極的」が全国や県に比べてできていない状況でした。また、教科書の音読も大切ですが、いろいろな本を読む、読書が重要であるという結果でした。

○国語B（主として国語の活用力を問う問題）では「話し合いの様子から、参加者の発言の意図や司会の発言の役割」について適切なものを選択する問題が比較的良くできました。しかし「話し手の意図を捉えて、自分の意見と比べて考えを書く」「目的や意図に応じて、文章全体の構成を考える」ができていませんでした。いずれも相手に分かるように説明する力やそれをまとめて書く力が求められています。

○算数A（主として算数の知識を問う問題）では、全国や県とほぼ変わらず良い状況でした。特に「角の大きさ」「空間の中にあるものの位置を正しく書く」が良い結果でした。しかし「2つのシートの混み具合を比べる式の意味」「折れ線グラフから変化の特徴を読み取る」問題が全国や県に比べてできていませんでした。単位量当たりの大きさを求める問題や示された条件にあうグラフを選ぶ基本を忘れてしまったようです。

○算数B（主として算数の活用力を問う問題）では「合同な三角形で敷き詰められた模様から条件に合う図形を見出す」「4色を順につなげて輪飾りを1本作ったときの30個目の色を選択する」が良い結果でした。しかし「示された情報を解釈し、条件に合う時間を求めることができる」「折り紙の枚数が100枚あれば足りる理由を、示された数量を関連付け根拠を明確にして記述できる」は全国や県に比べてできていない状況でした。示された情報や数量を解釈したり関連付けたりして求めるもので、日常生活で活用するための算数の考え方が求められる問題です。

○理科（2012年から3年に一度実施。本年度は実施年）では、「野鳥のひなを観察方法」

「流れてきた土や石を堆積させる水の働き」「海水と水道水の区別実験の結果を分析して考察する」「骨と骨のつなぎめを表す言葉」が良い結果でした。「食塩水を熱したときの食塩の蒸発について実験を通して導き出す結論を書く」「回路を流れる電流の向きと大きさについて、実験結果から考え直した内容を選ぶ」が全国や県に比べてできていない状況でした。今回は、知識に関する問題が3問、活用に関する問題が13問でしたが、知識に関する問題は良くできていますので、基礎力は着実に付いていると考えます。活用に関する問題について、課題がありますので日常生活と関連付けた理科の指導を工夫することが求められます。



また、質問紙から「自分には良いところがある」「学校の決まりを良く守る」「いじめはどんな理由があってもいけない」「人の役に立つ人間になりたい」「家で宿題をやる」等の項目は、90%以上の良い結果となっています。しかし、「毎日同じくらいの時刻に寝ている」「家で計画を立てて勉強している」「家で学校の予習・復習をしている」「新聞を読んでいる」「地域との関わり」については、低い数値になっています。家庭学習の在り方や生活リズム等ご家庭の協力が必要なことや読書をはじめ新聞等に触れる機会を持たせる等学校と家庭の連携が必要ながわかってきました。

上記の結果を踏まえながら、今年度、本校は次のことに取り組んでいます。

＜本校の学力向上の取組＞

◇基礎・基本の確実な定着とそのための学習習慣の形成を目指します。

国語・算数コンテストの取組を継続して「繰り返し学習」を行って、基礎・基本を確実にするとともに、「家庭学習がんばりカード」を活用して望ましい学習習慣を身に付けることを目指します。

◇学力向上と学校生活の充実のための土台づくりを大切にします。「天沼小学習のルール」「天沼小よいこの一日」を全校で指導していきます。

◇日々の授業の中で、日常生活と結び付けた活用について触れ、思考力や表現力を高めていけるよう授業の改善に取り組めます。

本年度の本校の研修テーマは、「ともに学び合い、高め合う児童の育成を目指して～道徳科における話し合い活動の工夫を通して～」に取り組んでいます。まずは、「自分の考え」を持たせ、「友だちとの話し合いにより考えを深める」取組を通して、心の育成を中心に、学習に取り組む意欲の向上を目指します。また、話し合い活動を通して自分の考えを説明する力や人の意見を聞いて、自分の考えをまとめ直す力の育成を目指します。

◇今年度から試行している5・6年生外国語、3・4年外国語活動の授業の充実を進めます。英語でのコミュニケーションを行う素地を培うための授業実践に取り組めます。

